

## 日本地域経済学会第15回（札幌）大会・総会開催プログラム

I 日時：2003年9月20日（土）～21日（日）

II 会場：北海学園大学（7号館 D30番教室、D41～42番教室）

III 現地実行委員会事務局

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 経済学部 小田 清 研究室

TEL 011-841-1161(内)2636 FAX 011-824-7729(経済学部事務局)

IV 日程

○第1日 9月20日（土）

<理事会（昼食含む）> 10：00～13：00

<メインシンポジウム> 7号館 D30番教室 13：30～17：00

**統一テーマ『公共事業の転換と地域政策のオールタナティブ』**（報告：各25分以内）

（シンポの主旨）公共事業のあり方に関する批判的検討は、これまで本学会の議論を含めて数多く出されている。本シンポジウムでは、これまでの批判的論点を踏まえながら、このような公共事業に代替される地域振興事業や具体的な振興政策は何かを中心に、全国の事例を検証しながら議論を深めたいと思っています。

（パネラー）

- |                              |                 |
|------------------------------|-----------------|
| (1) 地域政策の転換と地域の文化政策（仮題）      | 山田 浩之（羽衣国際大学）   |
| (2) 公共事業見直しの諸潮流              | 蔦川 正義（前佐賀大学）    |
| (3) 大規模工業開発の破綻と地域政策の転換       | 今松 英悦（毎日新聞論説委員） |
| (4) 経済構造の転換と地域発展の組織          | 奥田 仁（北海学園大学）    |
| (5) 地域振興における「自立」と「ネットワーク」の意義 |                 |

神沼公三郎（北海道大学）

（コーディネータ）

小田 清（北海学園大学）

<会員総会> 7号館 D30番教室 17：00～17：30

<懇親会> 三川屋会館 会費：5,000円程度 18：00～20：00

（中央区南3条西5丁目、Tel 011-231-7400）

※ 会員総会后、大学からタクシーにてまとめて移動します

○第2日 9月21日（日）

<自由論題報告>（各25分以内） 9：30～12：00

（第1分科会）D41番教室

(1) 竹味能成（金沢学院大学）

「IT化による地域産業の変貌と可能性—中小製造業を中心に」

- (2) 榊原雄一郎 (東北大学大学院)  
「集積地域形成における先行産業としての地場産業の役割  
－1970年までの愛知県碧南市の自動車産業の発展を事例に」
- (3) 鈴木茂 (松山大学)  
「イギリスのサイエンス・パークについて」
- (4) 小山良太・堀部篤(北海道大学大学院)  
「産業空洞化に対応した地域マネジメント体制の確立と地方財政問題  
－北海道長沼町を対象として」
- (5) 三輪 仁 (京都大学大学院)  
「地方民間放送局の創設期について」

(第2分科会) D42 番教室

- (1) 秋元健治 (日本女子大学)  
「むつ小川原開発計画・核燃サイクル事業における損益関係」
- (2) 堀内明彦 (北海学園大学大学院)  
「ロシアの労働市場と専門家養成  
－サハリン州における職業技術学校と中等技術専門学校を事例として」
- (3) 大原武正 (広島大学大学院)  
「住民直接請求運動と地域経済 ー広島県音戸町の住民運動からの実証」
- (4) 横山哲朗 (神戸大学大学院)  
「名護市総合計画(1973-1987)下における地域社会・経済の変容  
－政治経済学的視点からの分析」
- (5) 特別報告 Dr. Oddbjorn Bukve (Sogn og Fjordane University College)  
Effects of Local Government Size ·Efficiency, Democracy and Community  
Development from Nordic Experience

<地域公開シンポジウム：兼北海学園大学地域経済学科新設記念シンポジウム>

D30 番教室 13:00～17:00

**テーマ『市町村合併と地域づくりー地域のあり方・将来のまちづくりを中心に』**

(報告：各 30 分以内)

(シンポの主旨) これまで市町村合併をめぐっては、分権・地方財政をめぐっての議論が多かったように思われる。他方、地域経済社会や地域づくりを中心に据えての合併論議は弱かったように思われる。

本シンポでは、最近の合併をめぐる動向をにらみながら、具体的で実践的な側面から「地域づくりを中心に据えてのあるべき市町村合併の考え方」を議論する。

なお、このシンポは、開催校の経済学部地域経済学科が新設されたことを記念しての協力行事で、学生・一般市民・行政担当者にも聴講を呼びかけています。

(パネラー)

(1) 加茂 利男 (大阪市立大学/自治体問題研究所理事長)

(2) 北 良 治 (北海道・奈井江町長)

(3) 上治 堂司 (高知県・馬路村村長)

(4) 太田原高昭 (北海学園大学/北海道知事農業顧問)

(コーディネータ・解題) 高原一隆 (北海学園大学)